2023.04.30

MESSAGE NOTES

自分が正しいと思うときは気をつけよう

コロサイ人への手紙 4:6

ロイド・フラハティ

"一旦立ち止まってみよう"というメッセージの続きです。

1. 痛いところを突かれたとき
箴言 15:1「柔らかな答えは憤りを鎮め、激しいことばは怒りをあおる。」

怒りや不満に任せて行動することを避けましょう。

2. 優しく話すことが大切
やさしさ（柔和さ）は、御霊の実の一つです。

ガラテヤ 5:22-23「しかし、御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制です。このようなものに反対する律法はありません。」

3. どのような言葉で包むかが大切

コロサイ 4:6「あなたがたのことばが、いつも親切で、塩味の効いたものであるようにしなさい。そうすれば、一人ひとりにどのように答えたらよいかが分かります。」

愛をもって伝えない人から真理を受け取ることは難しいものです。

まとめ： 私たちは、愛と謙遜と優しさによって、真理を伝えるようにと召されています。人から自分の意見に反対されたり、信じていることに対して異議を唱えられたりする時、私たちは守りに入ったり攻撃的になることを避けるよう心掛けるべきです。それよりも、常に相手の気持ちや必要を念頭に置いて、優しく話すことを目指すべきです。

ピリピ人への手紙 2:4「それぞれ、自分のことだけでなく、ほかの人のことも顧みなさい。」